

合同埋蔵施設

配置計画・平面計画・断面計画

- ・自然に還ることを想起させ、故人の尊厳を保つ埋蔵環境
⇒コンクリートで密閉された地下室ではなく、大気に開放された空間とする。
- ・知多地域の風土・文化に基づいた埋蔵方法
⇒遺骨を納骨袋に入れたうえで、蔵骨器（甕状の焼き物）の中に納める埋蔵方法とする。
- ・屋内参拝所から合同埋蔵施設に対して参拝した際に、知北平和公園の自然林と連なった景観となるよう、敷地中央部に築山を設ける。
- ・築山内に合同埋蔵施設となる掘込んだ空間をつくり、掘込み内に蔵骨器を納める形態とする。

埋蔵計画

- ・50年間の埋蔵需要（管外利用含む）を基に8,000体を埋蔵できる規模とする。
- ・蔵骨器を納めるスペースに余裕を持たせ、50年を過ぎた後の埋蔵需要にも対応できるものとする。
- ・遺骨は組合管理事務所で受取り、埋蔵作業は組合（霊園施設維持管理委託受託者）が行う。

参拝計画

- ・空調設備を設置する屋内参拝所と、屋根付きの屋外参拝所の2つから参拝できる計画とし、利用者の利便性向上・混雑緩和を図る。
- ・屋内参拝所は日中開放・夜間施錠し、適正な施設管理を行う。
- ・屋外参拝所は24時間365日利用できる形態とする。

個別収蔵施設（骨壺安置室）

配置計画・平面計画・断面計画

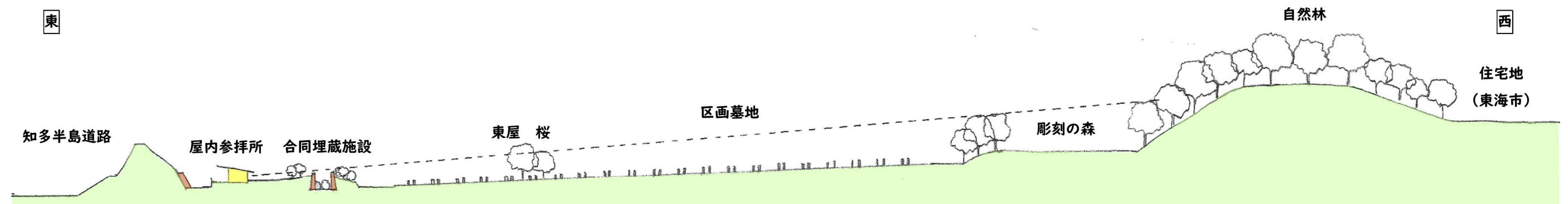
- ・収蔵した遺骨の管理と墓地埋蔵法の規定を考慮し、屋内参拝所とは別棟とする。
- ・屋内参拝所から景観を考慮し、既存の区画墓地との境界となるよう配置する。

埋蔵計画

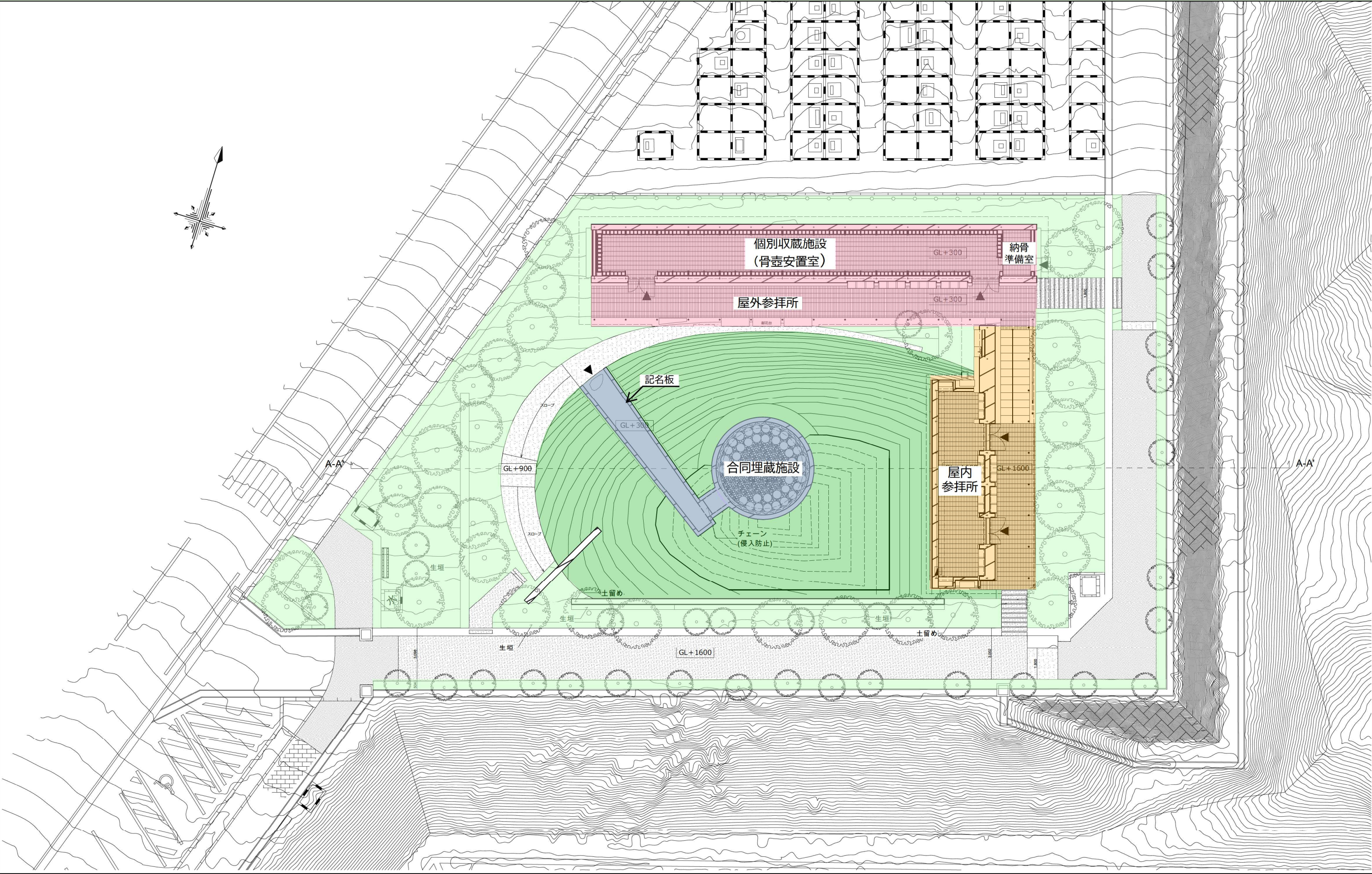
- ・50年間の埋蔵需要（管外利用含む）を基に、収蔵期間を15年間として、1,500体を収蔵できる規模とする。
- ・初期整備数は約1,300体分とし、将来増設分のスペースを確保する。
- ・骨壺棚は、木製の固定棚とし、1つの枠に1つの骨壺を納める形態とする。
- ・複数の枠につき1枚の戸を設け、防犯性を確保する。
- ・骨壺（遺骨）は組合管理事務所で受取り、収蔵作業は組合（霊園施設維持管理委託受託者）が行う。

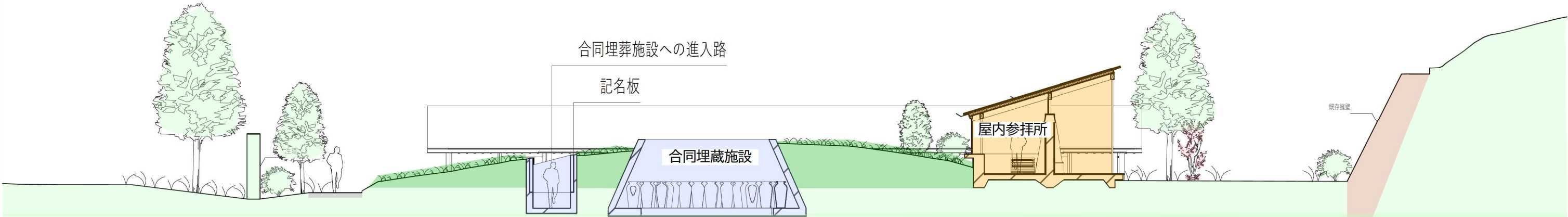
参拝計画

- ・利用者が建物内に入り、骨壺の前で参拝できる施設とする。
- ・日中開放・夜間施錠し、適正な施設管理を行う。
- ・運営費を考慮し、日中開放時も管理者は非常駐とする。ただし、防犯面を考慮し、録画機能付き監視カメラを設置する。









全体断面 A-A'